

方ナル能率ヲ尋ルニ於テハ幾分ノ値上ケテ
マシムハレト答ヘレメタルニ代表者ハ能率要求
ヲ貫徹セント力説シタルモ會社側ハ前説ヲ固
持シテ譲ラズ結局要領ヲ得ズ終ラタルカ職工
代表者等ハ會見後協議ヲナシ此場合四割増結
ノ貫徹ヲ期セントセハ紛糾ヲ重ヌルニ至テ
或ハ愕然ニ終ルコトヤテ後屬ニ其要求ヲ二割増
結ニ表裏スルコト、レ全日午後四時頃其會
社側ニ申出タリ職工側カ事茲ニ至レルハ本紛
議ハ折田彌三郎ノ籌策ニ俾テ真ニ之ニ共鳴セ
シハ儘カニ三四名ニ過ヤス他ハ悉ク會社側ニ
全情ニ居ルニ至レテ折田等ノ意ニ隨ハカレ
ハ將來報復ヲルヘキヲ怖レ新ルキ等ニ出テタル

之ノ如ク折田等々新ル關係ニ在ルヲ知悉レ
居ルヲ以テ要求ヲ半減スルニ至レルニ及ビ、如
シ
會社側ハ全月二十日午後三時職工代表者折田
彌三郎、佐藤憲雄、山田政吉、大島仙次、藤原庄五郎
ノ五名ヲ召集シ篠澤社長自ラ之ト會見折衝シ
結局作業能率ヲ二割以上増進スルコト、レ之
ニ背キタルトキハ職工ヨリ進シテ増額ヲ返付
スルコトノ条件ノ下ニ要求通りニ割増結スル
コトノ妥協成立シ代表者ハ更ニ一同ニ諾リタ
ルニ異議ヲ唱フルモノナク此旨會社側ニ返答
シ茲ニ無事解決セリ

十七、東京鉄鎖製造株式會社 (昭和七年七月十九日)